

定年は、まだ先ですか？

シニアライフを今から考えておきませんか？



どうも、48歳2児の父親、埼玉に住んでいる落語家の三遊亭鬼丸です。

この度、「シニアライフ案内士」のナビゲーター役を仰せつかりまして、これから令和4年3月まで月1回メールマガジンを配信する予定です。皆さんのお役に立つのか、立たないのかは、書いている私にも分かりませんが、少しでも役立てるよう頑張ります。

読者の皆さんは私と同世代。定年はまだ少し先、という40~50代だと思います。とはいえ、定年後のシニアライフに関心を持ち始めて、ライフプランセミナーなどを受講された「シニアライフ案内士」ですね。

シニアライフ案内士は、これからのシニア世代へ、より充実したシニアライフのあり方などを案内するのが役割です。(読んで字のごとし、そのまんまですが...)

実は私、彩の国シニア応援大使でもあります。「いきいきシニア」とか、「定年ではなく停年を」などをキャッチフレーズに、取材や講演を続けて5年になります。たくさんのお会いを通して、シニアライフとは何かについて、これまで考えてきたつもりです。その経験を踏まえて、皆さんをより良いシニアライフへいざないたいと思います。

私は、団塊ジュニアといわれる世代です。第2次ベビーブームで、やたらと子どもが多く、受験は大変だったのに、就職はバブルがはじけた後の氷河期。ようやく勤められたと思ったら、上司はバブル世代で、部下はゆとり世代。そりが合わない世代に挟まれた受難の世代です。

高度経済成長を支えた親世代は、終身雇用の正社員、結婚、子どもは2人以上、持ち家が当たり前でした。そういう親からプレッシャーを受け続けた私たちに、豊かな老後はあるのでしょうか。

「若い時には金がない。中年になると時間がない。年寄りには金と時間はあっても、体力がない」。少し前の時代の笑い話ですが、私たちの世代にはちっとも笑えません。だって、年寄りになっても、金と時間がないことすら考えられるんですから。

定年はまだ先のこと、なんて考えていませんか。現役である今から定年後のシニアライフを見通して、自分の時間や体力、仕事ややりがいについて考え、準備する必要があるようです。さあ、これから一緒に考えていきましょう！